



クマハギ被害を受けた森林

クマハギとは？

ツキノワグマがスギやヒノキの樹皮を剥ぐこといいます。

クマハギ被害を受けると…

木材価値の低下
(腐朽、変色)

森林機能の低下
(被害木の枯死)

などが心配されます。

岐阜県におけるクマハギの発生状況は？

2008年12月現在で、クマハギが確認された地域は下図のとおりです。このうち本巣、揖斐川、恵那、飛騨地域では、幹の全周が剥皮され樹木が枯死するといった激しい被害が見られます。

被害樹種は、スギ、ヒノキの造林木が主体ですが、カラマツやモミなどにも被害が見られます。



被害を防ぐためには？

現在、岐阜県内で主に実施されているクマハギ防止対策は「テープ巻」です。このほか、幹へ巻き付けるネットタイプやベルトタイプのクマハギ防止用資材も販売されています。

また、間伐や枝打ちなどで発生した枝条がある場合には、これを根元に集積しておくことで被害を減らす効果があるといわれています。

テープ巻



【特徴】
荷造用ポリエチレンテープを幹に巻き付けるだけなので、安価で手軽にできます。
【設置のポイント】
・地上1m以上まで巻き付けるのが効果的です。
・テープをひも状にねじって巻いた場合、成長で幹に食い込む恐れがあります。

枝条集積



【特徴】
間伐などの保育作業と同時に行うことで、安価で手軽にできます。
【設置のポイント】
・地上1m程度までを枝条で覆うようにします。
・傾斜地では被害を受けやすい斜面山側を重点的に防護します。

クマハギの特徴は？

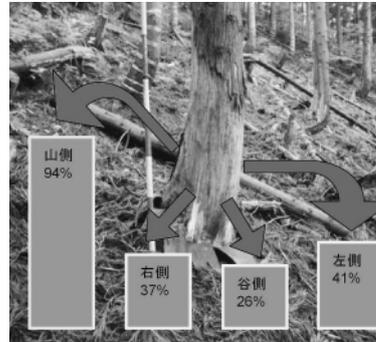
クマハギには下記の特徴が見られることが多く、シカによる剥皮害と見分ける際には、これらの特徴を参考に判別します。



幹に残る大きな樹皮片
剥がされた樹皮片は、大きく、幹に残っていることが多い。



幹に残る平行な直線の歯形
樹皮を剥がされた幹には、長さ10cm程の平行した歯形が残っていることが多い。



被害木の方向別被害発生割合
斜面山側の被害が多く、斜面谷側からは被害を確認できない場合がある。

【お問い合わせ先】 森林林業について、また、補助制度の採択要件や間伐のご相談等、お気軽にお問い合わせください。
揖斐川町農林振興課 (TEL 22-2111) ・揖斐郡森林組合 (TEL 22-6511) ・揖斐農林事務所林業課 (TEL 23-1111)